

てらこや便利 わあい♪ 2025.10.6 No.119

★萩往還に向けて歩く日をつくる。低中高の3つのグループに分けて平生を歩く。今年度低学年と高学年を分けて活動することができていなかった。年度の折り返しでやっと実現！低学年の部は虫網みと虫かごを持って探検。お昼休憩では相撲も始まる。いいね♪分けての活動の大切さを実感する。中高学年はただ歩くだけでは気が重くなるお年頃。ミッションを作ってクリアしていく楽しさを入れて気分をあげる。歩いていたら高学年から着信が。ポイントが一番多いチームに特典を与えたらどうかという提案。特典やその内容にわたしは一瞬もやもや悩んだけど、受け入れた。与えられた環境をいかに楽しく変えていくか、ひらめいて即行動、その姿がすてきだったから。そう、すべては自分次第。変えてもいいし変えなくてもいい。どちらにしても自分がすべてを創っている。創っていける！★おうちでのエピソードを聞いた。自分のイライラをこどもに伝えた時、その子は手を止めて体を向けて心に向けて話を聴いてくれたそう。そうしたらその子の在り方だけで不思議と自分のところが癒やされて整っていったと。あ〜『モモ』(ミハエル・エンデ)みたいだ。そしてハッとすると。聴いていない自分のあの場面この場面、いやいやさつきも・・・と続々と想起される。スタッフミーティングでもこどもたちとのミーティングでもこのエピソードをシェアした。なんにもしなくていいんだよね。ただ「聴く」だけで「聴いてもらえる」だけで私たちは満たされる。

日	月	火	水	木	金	土
10月			○1 歩く日 ひらお探検	2	3	4
5	6 中秋の名月	7	○8 歩く日 やない探検	9	10	11
12	13 スポーツの日	14	○15 稲刈り(予定)	16 修学旅行 プレゼン	17	18 大人向けは 15:45~
19 修学旅行 マルシェ	20 ひとつのじかん	21 しずかな じかん	○22 歩く日 たぶせ探検	23 優10歳	24 科学実験教室	25 この週に わらの家キャン プがあるかな!?
26	27	28 智咲11歳	29 てらこや キッチン	30 修学旅行 11/6まで	○31 歩く日 やま探検	

○ おむすび・お弁当の日(緑色の日) 1. 8. 15. 22日(水)、稲刈りの日、31日(金) *青字・・・誕生日\(^o^)/

修学旅行マルシェ

10:00~開会
10:20~マルシェ
12:30
13:00~運動会ミニ劇
14:45閉会

ねらい
★費用がわかるので
少しでもおうちの人
のようこんで
楽しめるように
負担を減らすため
自分達でできることを
したい。

萩往還 日程決まりました♪

60km 2泊3日徒歩キャンプ
11月19日(水)~21日(金)です。
詳細はまた来月に別途お知らせします♪

ふっくんのメッセージ

最近、スマホのアプリで「聞く読書」を楽しんでいる。心に残る一冊に出会ったので紹介したい。喜多川泰の『いただきます。』だ。主人公の青年は高校を卒業後、楽に稼げる仕事を求めてアルバイトを転々としている。自信が持てずに生きていたが、守衛室のアルバイトで出会った三人の師匠との交流を通じて、自身の在り方や方向性を見つけていく——そんな成長の物語だ。

この物語の「いただきます。」に対する捉え方が、特に心に残った。

1. 食べることは、命をいただくこと。その命を自分の一部にして生きている。
2. ごはんを作ってくれる人は、自分のために時間や労力を費やしている。
つまり、その人の命の一部もいただいている。
3. 一膳のごはんを作るには、自然や宇宙の全ての要素が関わっている。
4. 一粒のコーンでさえ、たくさんの人の手を経て、いま自分の目の前にある。
多くの人がつながり、関わってくれているからこそ味わえる。

こうして文章にすると味気なく、説教臭く感じるが、物語の中で主人公と一緒に「いただきます。」の意味を色んな人から教えもらおうと、「すごいことに気付けた！」という感覚になって面白かった。おうちえんや、てらこやが大切にしていることにも通じているはず…。機会があれば、子どもたちにも読み聞かせたいと思った。読みながら(聞きながら?) キッチンスタッフが料理を作っているシーンや、まあみんが感謝の歌を歌って食べ始めるシーンを思い出した。僕もこれからは心を込めて「いただきます。」と声に出そう。